

令和7年 (令和6年版) 消 防 年 報



瀬戸内市消防本部

目 次

管内概況

1 位置・地勢	1
2 管内人口・世帯数・面積	1

沿 革

瀬戸内市消防本部の沿革	2～10
-------------	------

消防概況

消防庁舎の概況	11～12
---------	-------

総 務

1 瀬戸内市消防本部の機構	13
2 歴代消防長	13
3 職員の定員・実員及び配置表	14
4 職員の階級別年齢状況	14
5 職員別年齢状況	15
6 職員の研修状況	16
7 応援協定締結状況	16
8 職員の特殊技能資格取得状況	17
9 予算	18

予 防

1 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況	19
2 防火管理者選任・消防計画作成状況	20
3 建築同意事務処理状況	21
4 建築同意事務処理の推移	21
5 消防用設備等関係届出事務処理状況	21
6 火災予防に関する届出等	22
7 過去10年間の防火対象物別火災件数	23
8 危険物施設の現況	24
9 危険物施設の形態	25
10 危険物規制事務状況	25
11 危険物関係立入検査状況	26
12 高圧ガス保安法関係施設数	27
13 高圧ガス保安法関係事務処理状況	27
14 液化石油ガス法事務処理状況	27
15 火薬類取締関係事務処理状況	27
16 自主防災組織結成状況	28
17 防火・防災指導、実技指導、広報活動状況	29

通 信

1 通信指令施設	30～31
2 有線通信施設	31
3 無線通信施設（デジタル、アナログ）	32～33
4 火災報知専用電話（119）月別受信状況	34

5	医療機関問い合わせの受付状況	35
6	月別気象状況	35
7	瀬戸内市の震度に関する情報	36

警 防 消 防

1	消防車両現勢一覧	37
2	火災概況	38
3	過去3年間の出火原因別火災発生状況	39
4	過去5年間の火災発生比較	40
5	過去10年間の火災動向	41
6	水利現況	41

警 防 救 急・救 助

1	救急概況	42
2	時間別出場件数	43
3	過去5年の署所別出場件数	43
4	曜日別月別救急出場件数	44
5	事故種別出場件数と男女別搬送人員	45
6	傷病程度別搬送状況	45
7	年齢区分別傷病程度の状況	46
8	事故種別応急処置状況	47
9	急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員	47
10	医療機関別搬送人員	48
11	管内管外別搬送人員	49
12	現場到着所要時間別出動件数状況	49
13	収容所要時間別搬送人員状況	50
14	発生場所別搬送人員	50
15	過去10年間の救急業務の推移	51
16	事故種別年齢区分別搬送人員	52
17	実技指導	53
18	救助概況	54

消 防 団

1	消防団の組織及び定員	55
2	消防団階級別人員調	56
3	団員の階級別年齢状況	57
4	団員報酬及び諸手当	58
5	消防団車両状況	59
6	出動状況	60

管内概況

1 位置・地勢

瀬戸内市は岡山県の南東部(東経134°0'5"・北緯34°39'消防本部基準)に位置し、西に県下三大河川の一つである吉井川をへだてて県都岡山市に隣接し、東・南は瀬戸内海に面しており、北は備前市に接しています。東西20.5km、南北15.5km管内面積は125.46km²です。JR赤穂線が市内を走り、市の中心部を東西に岡山ブルーラインが横断する交通条件を背景に、都市近郊型の良好な住宅環境や企業の立地等により発展しています。

年間降雨量は1,200mm内外という寡雨地帯であり、気温も年平均14.5℃内外で四季を通じて気候の温暖な地域です。瀬戸内海国立公園を形成する海や海岸線をはじめ、緑豊かな丘陵などの自然に恵まれた美しい景観です。古くから開けたまちとして栄え、神社仏閣や古窯跡群、朝鮮通信使関連遺跡や城跡などの史跡、竹久夢二の生家やおさふね刀剣の里など多彩な歴史・文化資源があり、観光客が多く訪れています。また農業はもちろん、沿岸漁業や特にカキなどの養殖も盛んです。

平成16年11月に合併し、新しく誕生した瀬戸内市は、まちづくりの目標となる将来像を「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」として、市民一人ひとりが美しい海岸線や緑豊かな自然を愛し、ふるさとの歴史・文化に誇りを持ち、新しい夢を育み、生き生きと暮らせる住みよいまちづくりを進めています。



2 管内人口・世帯数・面積

令和7年4月1日現在

人口	男	17,531人	合計 36,069人
	女	18,538人	
世帯数	16,291世帯		
面積	125.46km ²		

沿革

瀬戸内市消防本部の沿革

昭和48年	7月	邑久地区消防組合設立協議会を設置。
	12月	邑久消防組合設置許可申請。
昭和49年	4月	邑久消防組合設立許可。(岡山県指令地第2号)
	〃	消防本部及び消防署設置についての政令指定を受ける。
	〃	消防職員15名を採用。
	5月	連絡車1台購入。
昭和50年	6月	邑久消防組合消防本部、邑久消防署の業務を開始。
	3月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
昭和50年	4月	消防職員7名採用し、総員22名となる。
	〃	救急業務開始。
	5月	邑久消防組合消防本部、邑久消防署庁舎完成。
	7月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	無線中継局舎完成。
	10月	無線局開局。
昭和51年	3月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	消防職員5名採用し、総員27名となる。
	6月	小型動力ポンプB-3級購入。
	7月	化学車1台購入。
昭和52年	4月	消防職員5名と一般職員1名採用し、総員33名となる。
	7月	日本消防協会より広報車1台寄贈を受ける。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	牛窓分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配備。
	12月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
昭和53年	2月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	消防職員9名採用し、総員42名となる。
	9月	日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受ける。
	10月	長船分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車

		1台、救急車1台を配備。
昭和54年	3月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	〃	消防職員1名退職し、総員41名となる。
	4月	消防職員3名採用し、総員44名となる。
	9月	日本防火協会より予防広報車1台寄贈を受ける。
昭和55年	4月	消防職員1名採用し、総員45名となる。
	9月	日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受ける。
昭和56年	2月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	小型動力ポンプC-1級購入。
	9月	日本消防協会より指令広報車1台寄贈を受ける。
昭和57年	7月	消防職員1名退職し、総員44名となる。
昭和58年	8月	日本消防協会より救出救助用資器材搬送車1台寄贈を受ける。
昭和59年	4月	緊急連絡車1台購入。
昭和60年	2月	邑久消防組合敷地拡張造成工事をする。
	8月	邑久消防組合敷地購入。
	10月	15mはしごバスケット付消防ポンプ自動車購入。
	12月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
昭和61年	10月	消防庁舎増改築工事竣工。
昭和62年	3月	消防庁長官表彰 竿頭綬を受賞する。
	8月	邑久消防組合敷地購入。
	9月	日本消防協会より指令車1台寄贈を受ける。
	〃	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
	10月	照明付救助工作車購入。
	12月	日本自動車工業会より救急車1台寄贈を受ける。

昭和63年	8月	邑久消防組合敷地購入。
平成元年	3月	邑久消防組合訓練場造成完成。
	〃	消防職員1名退職し、総員43名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員45名となる。
	5月	連絡車1台購入。
平成2年	1月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	9月	日本防火協会より予防広報車1台寄贈を受ける。
平成3年	3月	消防職員2名退職し、総員43名となる。
	4月	消防長、邑久町役場より出向し、総員44名となる。
	5月	連絡車1台購入。
	12月	ISDN119番2台設置。
平成4年	2月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	3月	消防職員1名退職し、総員43名となる。
	4月	消防職員3名(内1名は女性消防士)採用し、総員46名となる。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	今城地区119番電話回線切替え。
平成5年	4月	消防職員2名を採用し、総員48名となる。
	〃	臨時職員を1名採用する。
	〃	一般職員から消防職員(女性消防吏員)に任命する。
	9月	臨時職員1名退職する。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	11月	新消防庁舎の敷地造成起工。
平成6年	3月	新消防庁舎の敷地造成完成。
	4月	消防職員2名採用し、総員50名となる。
	〃	臨時職員1名採用する。
	5月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター起工。
	8月	邑久町虫明 横山春松氏より救急車1台寄贈を受ける。

平成7年	1月	兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）が発生し、神戸市へ応援活動。
	3月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター完成。
	3月	通信指令設備新設（総合指令台I型、無線通信設備、気象観測装置、支援情報表示盤、非常用指令設備、録音装置、職員出退表示、電話交換機）
	〃	邑久消防組合20周年記念式典及び新庁舎完成落成式典。
	4月	新消防庁舎へ移転、防災センター業務開始。
	〃	消防職員2名採用し、総員52名となる。
	〃	防災通信ネットワーク完成、運用開始。
	9月	臨時職員1名退職。
	10月	臨時職員1名採用する。
	11月	旧消防庁舎解体工事完了。
	12月	訓練塔完成（鉄筋コンクリート造・5階建）
	〃	消防職員1名退職し、総員51名となる。
平成8年	4月	消防職員3名採用し、総員54名となる。
	5月	資機材搬送車（軽四輪車）1台購入。
	8月	可搬積載車1台購入。
	10月	消防職員委員会発足。
	〃	水槽付消防ポンプ自動車1台購入。
12月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。	
平成9年	1月	消防職員1名退職し、総員53名となる。
	3月	消防長退任・職員1名退職し、総員51名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員52名となる。
	〃	消防長、再任用され、総員53名となる。
	〃	救急救命士2名誕生する。
7月	消防職員1名退職し、総員52名となる。	
平成10年	4月	消防職員1名採用し、総員53名となる。
	〃	岡山県災害医療情報システム設置、運用開始。
	〃	救急救命士3名となる。
	11月	移動体通信119番転送、受信装置設置、運用開始。

平成11年	2月	高規格救急車1台購入。
	3月	消防長退任・職員1名退職し、総員51名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員52名となる。
	〃	消防長就任、総員53名となる。
	〃	救急救命士4名となる。
	〃	高規格救急車、運用開始。
平成12年	12月	コンピューター西暦2000年問題警戒体制をとる。
	4月	消防職員1名採用し、総員54名となる。
	〃	救急救命士5名となる。
	8月	日本損害保険協会より化学車1台寄贈を受ける。
平成13年	11月	指揮車1台購入。
	3月	日本消防協会より司令車1台寄贈を受ける。
	〃	消防庁長官表彰 表彰旗を受賞する。
	4月	救急救命士6名となる。
	5月	連絡車1台購入。
	6月	邑久郡防災広域ネットワーク運用開始。
	8月	資機材搬送車1台購入。
平成14年	〃	可搬積載車(軽四)1台購入。
	3月	日本自動車工業会より高規格救急車1台寄贈を受ける。
	〃	消防職員1名退職し、総員53名となる。
	4月	職員定数条例の改正により定数68人となる。
	〃	消防職員4名採用し、総員57名となる。
	〃	救急救命士7名となる。
平成15年	〃	連絡車1台購入。
	4月	消防職員5名採用し、総員62名となる。
	〃	救急救命士8名となる。
平成16年	6月	消防職員1名退職し、総員61名となる。
	3月	消防職員1名退職し、総員60名となる。
平成16年	〃	消防ポンプ自動車1台購入。
	4月	消防職員5名採用し、総員65名となる。
	〃	救急救命士9名となる。
	7月	消防職員1名退職し、総員64名となる。

平成17年	1 1 月	瀬戸内市発足に伴い、瀬戸内市消防本部となる。
	〃	瀬戸内市から職員1名配属され、総員65名となる。
	〃	瀬戸内市より連絡車1台寄贈を受ける。
	1 2 月	消防職員1名退職し、総員64名となる。
	〃	救助工作車1台を更新。
	1 月	消防職員1名退職し、総員63名となる。
	4 月	消防職員5名採用し、総員68名となる。
平成18年	〃	救急救命士10名となる。
	1 0 月	長船分駐所の増・改修工事完了。
	1 1 月	高規格救急車1台購入。
	1 2 月	携帯電話からの119番直接受信開始。
	3 月	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4 月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士11名となる。
平成19年	1 2 月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	1 月	はしご車1台を更新。
	3 月	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4 月	消防長、就任し総員68名となる。
	〃	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士12名となる。
	5 月	瀬戸内市消防団より消防ポンプ自動車1台移管。
平成20年	1 2 月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	3 月	消防職員2名退職し、総員66名となる。
	4 月	消防職員1名採用し、総員67名となる。
	〃	救急救命士13名となる。
平成21年	3 月	消防長退任、消防職員2名退職し、総員64名となる。
	4 月	消防職員4名採用し、総員68名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士14名となる。
	1 1 月	高規格救急車1台購入。
平成22年	3 月	牛窓分駐所CD-I消防ポンプ自動車1台更新。

平成23年	〃	高機能指令センター統合型指令装置更新整備。
	〃	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士15名となる。
	7月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
平成24年	3月	東日本大震災が発生し、宮城県多賀城市へ応援活動。
	〃	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士16名となる。
平成24年	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士17名となる。
平成25年	11月	全国共済農業協同組合連合会岡山県本部より、高規格救急車1台寄贈を受ける。
	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流を終了する。
	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
平成26年	〃	救急救命士17名となる。
	3月	消防長退任し、総員68名となる。
	〃	瀬戸内市職員1名市へ帰職し、総員67名となる。
	4月	消防救急デジタル無線運用開始。
	〃	消防職員2名採用し、総員69名となる。
平成27年	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士18名となる。
	8月	豪雨による広島土砂災害が発生し、安佐南区へ応援活動。
	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
平成27年	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士19名となる。

平成28年	4月	岡山県消防学校と人事交流し職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士20名となる。
	〃	熊本地震が発生し、熊本県益城町へ応援活動。
平成29年	3月	消防職員2名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員5名採用し、総員72名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士22名となる。
	〃	岡山県消防防災航空隊へ1名派遣する。
	10月	消防職員1名退職し、総員71名となる。
平成30年	3月	消防職員5名退職し、総員66名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員72名となる。
	〃	救急救命士23名となる。
	7月	平成30年7月豪雨災害が発生し、倉敷市真備町へ県下消防相互応援協定に基づく応援活動。
平成31年	3月	消防職員2名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員76名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士24名となる。
令和元年	6月	消防職員1名退職し、総員75名となる。
令和2年	3月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	消防職員8名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員73名となる。
	〃	岡山県消防学校へ1名派遣する。
	〃	救急救命士26名となる。
12月	日本損害保険協会より、高規格救急車1台寄贈を受ける。	
令和3年	3月	消防職員3名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員3名採用し、総員73名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士25名となる。
	9月	消防職員1名退職し、総員72名となる。

令和4年	10月	長船分駐所庁舎新設移転。
	12月	高規格救急車1台購入。
	2月	支援車Ⅱ型（クレーン付き資機材搬送車）1台購入。
	3月	消防職員2名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員3名（内1名は女性消防士）採用し、総員73名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
令和5年	〃	救急救命士23名となる。
	2月	13mブーム付き多目的消防ポンプ車1台購入。
	4月	消防職員1名採用し、総員74名となる。
	〃	救急救命士25名となる。
令和6年	〃	岡山県消防防災航空隊へ1名派遣する。
	3月	職員1名退職し、総員73名となる。
	4月	消防職員新規3名採用し、再任用者1名を採用し総員77名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士26名となる。
令和7年	4月	消防職員新規4名採用し、総員81名となる。
		救急救命士27名となる。 岡山県消防学校へ1名派遣する。

消防概況

消防庁舎の概況

消防本部・消防署・防災センター



所在地	岡山県瀬戸内市邑久町本庄 1795 番地
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 2 階建
延床面積	2008.92㎡ (防災センター555㎡)
敷地面積	8077.46㎡
	平成7年3月竣工

消防訓練塔



構造	鉄筋コンクリート造 5 階建
地上高	18.80m
建築面積	34.32㎡
延床面積	138.87㎡
	平成7年12月竣工

瀬戸内市消防署 牛窓分駐所



所在地	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 6405-1
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
延床面積	201.21 m ²
敷地面積	341.25 m ²
	昭和 52 年 10 月竣工

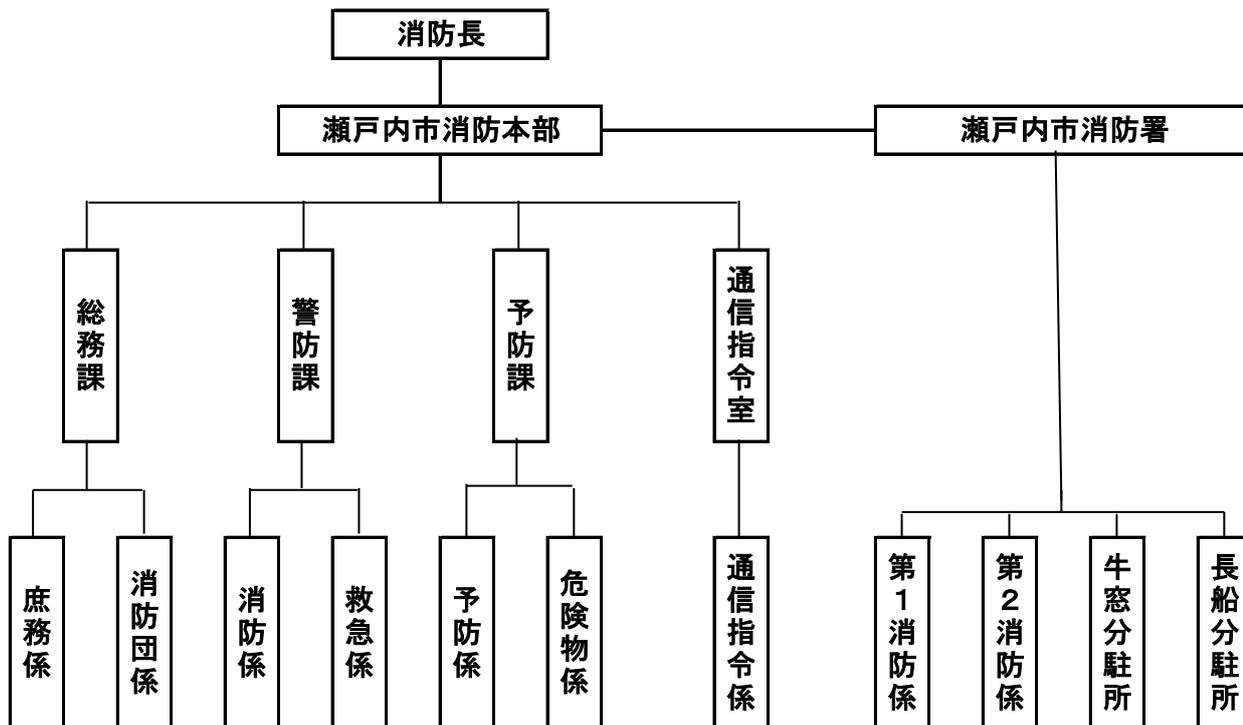
瀬戸内市消防署 長船分駐所



所在地	岡山県瀬戸内市長船町土師 3 1 3-7
構造	鉄筋コンクリート 2階建
延床面積	320.95 m ²
敷地面積	725.97 m ²
	令和 3 年 10 月竣工

総務

1. 瀬戸内市消防本部の機構



2. 歴代消防長

瀬戸内市消防本部				
歴代 消 防 長	初代	太田英晴	H 16.11.1 ~ H 18.3.31	専任
	2代	藤原和正	H 18.4.1 ~ H 19.3.31	〃
	3代	小野田和義	H 19.4.1 ~ H 21.3.31	〃
	4代	柴田佳明	H 21.4.1 ~ H 26.3.31	〃
	5代	岡崎政人	H 26.4.1 ~ H 29.3.31	〃
	6代	鶴海栄一	H 29.4.1 ~ H 31.3.31	〃
	7代	高原正利	H 31.4.1 ~ R 3.3.31	〃
	8代	田淵光彦	R 3.4.1 ~ R 4.3.31	〃
	9代	植松謙二	R 4.4.1 ~ R 6.3.31	〃
	10代	川部敬司	R 6.4.1 ~ 現在	〃

3. 職員の定員・実員及び配置表

【定員100名】

令和7年4月1日現在

階級		区分	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
		実員	81	1	18	20	20	12	10
実員配置列	消防本部	消防長	1	1					
		次長							
		総務課	9		2	5	2		
		警防課	4		2	2			
		予防課	5		2	1	2		
		通信指令室	7		4	1	2		
	消防署		43		6	8	11	9	9
	分駐所		12		2	3	3	3	1

4. 職員の階級別勤続年数

令和7年4月1日現在

階級	年数区分	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
	1年未満	4						4
	1年以上～5年未満	10					5	5
	5年以上～10年未満	18				10	7	1
	10年以上～15年未満	7			1	6		
	15年以上～20年未満	9			5	4		
	20年以上～25年未満	16		3	13			
	25年以上～30年未満	7		7				
	30年以上～35年未満	7		7				
	35年以上	3	1	1	1			
	計	81	1	18	20	20	12	10

5. 職員別年齢状況

【定員100名】

令和7年4月1日現在

階級	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
区分							
総数	81	1	18	20	20	12	10
18歳	3						3
19歳	2						2
20歳	1						1
21歳							
22歳	1						1
23歳	1						1
24歳	2						2
25歳	3					3	
26歳	2					2	
27歳	6				1	5	
28歳	1					1	
29歳	1				1		
30歳	3				3		
31歳	3				2	1	
32歳	2						
33歳					2		
34歳	1				1		
35歳	4				4		
36歳	3				3		
37歳	3			1	2		
38歳	5			4	1		
39歳	2			2			
40歳	3			3			
41歳	1			1			
42歳							
43歳	4			4			
44歳	1			1			
45歳	3			3			
46歳	2		2				
47歳	2		2				
48歳	3		3				
49歳	5		5				
50歳							
51歳	1		1				
52歳	2		2				
53歳							
54歳							
55歳	1		1				
56歳	2		2				
57歳	1	1					
58歳	0						
59歳	0						
60歳	0						
61歳	0						
62歳	0						
63歳	1			1			
平均年齢	36.9	57	49.8	42.1	33.4	26.8	20.5

6. 職員の研修状況（過去15年間）

令和7年4月1日現在

年	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	総数	
岡山県消防学校	初任教育	2	2		1	2	1		4	5	6	5	3	3	1	3	38
	幹部教育(初級幹部科)	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	21
	幹部教育(中級幹部科)						1	2	1	1	1	1	2	2	2	2	15
	救助科	3	2	2	1	1	2	1	1	4	5	6	4	3		2	37
	予防科	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	21
	救急科	2	2		1	2	1		4	5	6	5	3	3	1	3	38
	警防科		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	21
	火災調査科	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	2	2	2	21
	通信指令研修												2	2	2	2	8
	救急二次救命講習	1		1													2
	ビデオ硬性喉頭鏡講習			1	3	4	2			2	2				1		15
	ショック輸液・ブドウ糖投与講					1	2		3								6
	救急外傷初療講習		1		1												2
	MCLS					1										2	3
	ブラッシュアップ研修											2	2	2	2	2	10
	実火災体験型訓練指導者研修										1		4	4	4	4	17
消防大学校	予防科								1							1	
	警防科						1				1					2	
	幹部科	1										1	1			3	
	救急科															0	
	火災原因調査科								1							1	
	救助科															0	
	危険物科															0	
	火災調査講習会															0	
	調査研究科(自主防災指導者コース)															0	
その他	ドローン検定										2	2	2	2	2	10	
	墜落制止用器具特別教育										2	2	2	2	2	10	
	MCLS標準コース						1	1	1	1	2				3	9	
	JPTEC				1	1			2	1	1				4	14	
	緊急自動車運転技能研修										1		1	1	2	5	
救急救命士養成研修	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
指導救命士養成研修								1			1		1		1	4	

7. 応援協定締結状況

	締結先	締結年月日
1	東 備 消 防 組 合	昭和51年5月1日
2	赤 磐 市 消 防 本 部	昭和51年7月1日
3	岡 山 市 消 防 局	平成17年3月22日
4	岡山県下消防相互応援協定	平成20年3月31日

8.職員の特殊技能資格取得状況

令和7年4月1日現在

階 級 資 格 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
		実 員	1	18	20	20	12	10
大 型 (第 1 種) 運 転 免 許		1	16	19	20	7	1	64
特 殊 無 線 技 師 (2 級 特 技)		1	18	20	20	12	6	77
小 型 船 舶 操 縦 士		1	2	10	13	6	1	33
ア セ チ レ ン ガ ス 溶 接			2	2	1			5
労 働 衛 生 管 理 者 (第 1 種)				2	2		1	5
電 気 工 事 士			1	3	1			5
移 動 式 ク レ ー ン			11	11	13	2		37
玉 掛 け			12	12	12	3		39
救 急 救 命 士			10	11	6	1		28
消 防 設 備 士	甲 種			1				1
	乙 種		1	2	1	2		6
危 険 物 取 扱 者	甲 種			2				2
	乙 種		7	10	8	4		29
予 防 技 術 者 資 格 (防 火 査 察 専 門 員)			3	9	3	3		18
予 防 技 術 者 資 格 (消 防 用 設 備 等 専 門 員)		1	1	5	2	1		10
予 防 技 術 者 資 格 (危 険 物 専 門 員)				7	2	1		10
ド ロ ー ン 検 定			2	4	4	2		12
フ ル ハ ー ネ ス 型 墜 落 制 止 用 器 具				3	8			11
潜 水 士			2	3	10	3		18

9. 予 算

(1) 令和7年度消防予算（当初）額と令和6年度消防予算（当初）額 単位：千円

	令和7年度予算	令和6年度予算	比 較 増 減
常備消防費	669,043	640,729	28,314
給料	297,316	275,997	21,319
職員手当等	198,528	182,079	16,449
共済費	89,982	81,026	8,956
報償費	10	10	0
旅費	1,247	1,241	6
需用費	25,940	38,625	△ 12,685
役務費	9,278	10,268	△ 990
委託料	4,484	8,278	△ 3,794
使用料及び賃貸料	3,753	2,935	818
工事請負費	0	666	△ 666
原材料費	10	10	0
備品購入費	2,594	7,850	△ 5,256
負担金補助及び交付金	35,098	31,551	3,547
公課費	803	193	610
非常備消防費	46,065	45,849	216
報酬	20,235	20,234	1
報償費	5	30	△ 25
旅費	5,350	5,251	99
交際費	45	50	△ 5
需用費	3,046	3,399	△ 353
役務費	2,310	1,955	355
委託料	58	58	0
使用料及び賃貸料	49	47	2
備品購入費	59	58	1
負担金補助及び交付金	14,463	14,428	35
公課費	445	339	106
消防施設費	458,466	422,068	36,398
需用費	500	500	0
委託料	7,579	19,495	△ 11,916
工事請負費	242,787	385,220	△ 142,433
備品購入費	205,300	14,276	191,024
負担金補助及び交付金	2,300	2,577	△ 277
合 計	1,173,574	1,108,646	64,928

(2) 令和6年度消防予算（当初）額等の比率

単位：円

	総 額	人口1人当り	1世帯当り	1日当り
消防予算（当初）額	117,357,400	3,206	7,205	321,527

※水防費は除く

予 防

1. 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況

令和6年度

防火対象物の区分		防火対象物数	立入検査数	立入検査率	点検結果報告件数
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場				
	ロ 公会堂・集会場	50	17	34%	37
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ 遊技場・ダンスホール	4	3	75%	4
	ハ 風俗営業店舗等・その他総務省令				
	ニ カラオケボックスその他	1	1	100%	1
3	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店	109		0%	9
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	59	21	36%	48
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	78	33	42%	40
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	153	2	1%	46
6	イ 病院・診療所・助産所等	65	8	12%	28
	ロ 老人短期入所施設等	15	2	13%	14
	ハ 老人デイサービスセンター等	70		0%	43
	ニ 幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	5	4	80%	5
7	小・中・高・大・各種学校等	54	21	39%	48
8	図書館・博物館・美術館等	17	1	6%	12
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	3			
	ロ イ以外の公衆浴場	5			3
10	車両の停車場・船舶・航空機の発着場				
11	神社・寺院・教会等	44		0%	14
12	イ 工場・作業場	262	61	23%	120
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ 自動車車庫・駐車場	17		0%	5
	ロ 飛行機・回転翼航空機の格納庫				
14	倉庫	241	34	26%	90
15	前各項に該当しない事業所	278	9	3%	107
16	イ 特定複合用途防火対象物	67	34	51%	34
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	58	6	10%	12
16の2	地下街				
16の3	準地下街				
17	重要文化財・重要美術品等の建造物	15	15	100%	10
18	延長50m以上のアーケード				
19	市町村の指定する山林				
20	総務省令で定める舟車				
合 計		1,670	272	16.3%	730

備考 建築物は、17の項を除き延べ面積が150㎡以上のものを、防火対象物数にあつては、3月31日現在で、計上している

2. 防火管理者選任・消防計画作成状況

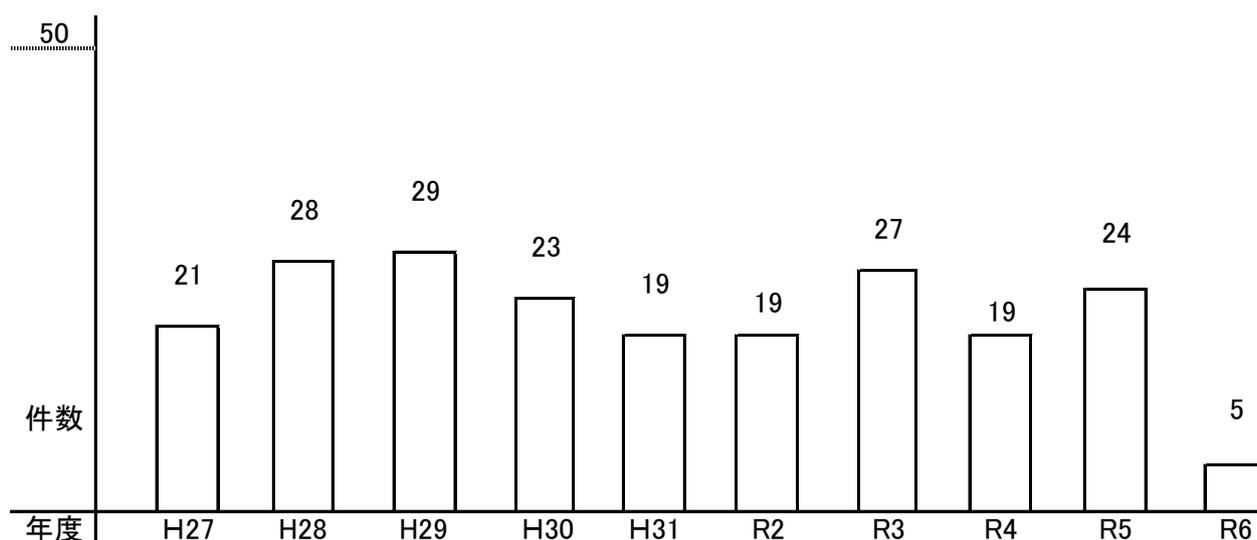
令和6年度

防火対象物の区分		防火管理者選任 及び消防計画作成 義務対象物数	防火管理者届出 済対象物数	消防計画届出 済対象物数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		
	ロ	公会堂・集会場	42	37
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	2
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令		
	ニ	カラオケボックスその他	1	1
3	イ	待合・料理店等		
	ロ	飲食店	14	12
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	42	41
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	14	13
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	10	9
6	イ	病院・診療所・助産所等	7	7
	ロ	老人短期入所施設等	15	11
	ハ	老人デイサービスセンター等	21	19
	ニ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	4	4
7		小・中・高・大・各種学校等	13	12
8		図書館・博物館・美術館等	5	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		
	ロ	イ以外の公衆浴場		
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		
11		神社・寺院・教会等	5	3
12	イ	工場・作業場	23	18
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場		
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫	5	3
15		前各項に該当しない事業所	19	17
16	イ	特定複合用途防火対象物	33	19
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	6	4
16の2		地下街		
16の3		準地下街		
17		重要文化財・重要美術品等の建造物		
18		延長50m以上のアーケード		
19		市町村の指定する山林		
20		総務省令で定める舟車		
		合 計	282	237

3. 建築同意事務処理状況 令和6年度

工事種別	件数
新築	4
増築	1
改築	0
その他	0
合計	5

4. 建築同意事務処理の推移



5. 消防用設備等関係届出事務処理状況

令和6年度

	消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災通報装置	非常警報設備（ベル）	非常警報設備（放送）	避難器具	誘導灯及び誘導標識	消防用水	連結送水管	不活性ガス消火設備
着工届	3	1	0	0	0	2	0	18	0	4	1	2	1	13	0	0	0
設置届	43	1	0	0	0	2	0	28	0	4	1	2	1	23	0	0	0

6. 火災予防に関する届出件数

令和6年度

届出等の種別	月別													
	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
防火対象物使用開始届	72	13	1	4	2	4	5	1	6	29	0	3	4	
防火管理者選任・解任届	53	7	11	3	0	2	2	3	3	0	2	11	9	
消防計画作成・変更届	53	7	11	3	0	2	2	3	3	0	2	11	9	
防火対象物点検結果報告書	30	1	4	3	1	0	3	0	8	7	0	1	2	
自衛消防訓練通知書	343	35	32	23	32	7	27	48	48	28	13	22	28	
改修計画書	40	0	1	1	3	1	0	1	5	21	4	3	0	
消防用設備等計画届	5	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	
消防用設備等特例適用申請 消防用設備等免除申請	5	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	
液化石油ガス等の貯蔵取扱い届	7	0	0	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	
少量危険物・指定可燃物の貯蔵取 扱い届	4	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	
火を使用する設備の設置届	5	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	
変電・発電・蓄電池設備の設置届	7	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1	1	
煙火打上げ届	9	3	0	0	3	1	0	0	0	2	0	0	0	
露店等の開設届出書	37	7	2	1	8	2	3	4	4	2	0	1	3	
火災とまぎらわしい煙(火災)を発す る行為の届	31	2	3	1	5	2	2	2	1	5	2	4	2	
圧縮アセチレンガス貯蔵開始届	5	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
合 計	1003	77	68	41	57	25	50	67	80	98	25	58	60	

7. 過去10年間の防火対象物別火災件数

防火対象物の区分		26年	27年	28年	29年	30年	31年	2年	3年	4年	5年	6年
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場										
	ロ	公会堂・集会場										
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令										
	ニ	カラオケボックスその他										
3	イ	待合・料理店等										
	ロ	飲食店										
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場										
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所										
	ロ	1	2									
6	イ	病院・診療所・助産所等										
	ロ	老人福祉施設・児童福祉施設等										
	ハ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校										
7		小・中・高・大・各種学校等										
8		図書館・博物館・美術館等										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ	イ以外の公衆浴場										
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場										
11		神社・寺院・教会等										
12	イ	1		3		1	2	1		1		3
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ										
13	イ	自動車車庫・駐車場										
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫										
14		倉庫										
15		前各項に該当しない事業所										
16	イ	特定複合用途防火対象物										
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物										
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		重要文化財・重要美術品等の建造物										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車										
		2	3	5	4	1	2	2	1	3	6	1

備考 []書きは死者、()書きは負傷者の人数を表す

8. 危険物施設の現況

令和6年度

製造所等の別 指定数量の倍数別 類別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所
合計	145	9	30	18	1	29	1	5	2	24	26
5倍以下	48	1	13	11		11	1	5			6
5倍を超え 10倍以下	24	3	6	3	1	4			2		5
10倍を超え 50倍以下	46	4	5	2		10				13	12
50倍を超え 100倍以下	11	1	3							4	3
100倍を超え 150倍以下	9		2	2		1				4	
150倍を超え 200倍以下	1		1								
200倍を超え1000倍以下	6					3				3	
第3類のみ	1		1								
第4類のみ	139	7	26	18	1	29	1	5	2	24	26
類混在	5	2	3								

9. 危険物施設の形態

令和6年度

形態の区分	合計	製造所	屋内貯蔵所						屋外タンク貯蔵所	準 特 定	特 定	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	積載式	給油タンク車
			平 高 層 式	特 高 層 式	建 指定過酸化 物	平 屋 建 以 外	建 築 物 内 設 置	平 屋 建 以 外									
数	145	9	30		1					18		1	29	1	5	1	

形態の区分	屋外貯蔵所	硫黄等	給油取扱所						自家用	セルフ	一般取扱所	吹付塗装作業	洗浄作業	焼入作業等	ボイラー等消費	充てん	詰替え	油圧装置等	切削装置等	循環装置等
			セル	航	船	鉄道又は軌道	セル	セル												
数	2		24	4		3		12		26	1			2	2	8				

10. 危険物規制事務状況

令和6年度

区分	許可						完成検査						タンク検査		承認	認可	受理													
	設置			変更			設置			変更			水	水			仮 使 用	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届	品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 の 変 更 届	火 気 使 用 工 事 届	危 険 物 非 定 常 作 業 届	関係届				休 止 ・ 再 開 届	譲 渡 ・ 引 渡 届	廃 止 届
	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所			水	水								代表者氏名等の変更	危険物以外の物品の貯蔵	資料の提出	申請の取下げ												
数		1		4	3	18				4	3	16		1	15		4	20	5	2		1		82		1				

11. 危険物関係立入検査状況

令和6年度

製造所等の別	合計	無許可・無承認の場所	仮貯蔵・仮取扱	危険物施設										少量危険物貯蔵取扱所	施工検査	休止・再開検査	廃止検査	道路上等		事故調査	
				製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所					移動タンク貯蔵所	危険物運搬車両		
対象施設数	144	0	0	9	30	18	1	28	1	5	2	24	26	259	2	0	2	2	0	1	
	令和6年度	76	0	0	8	12	0	5	12	1	5	0	15	18							
	令和5年度	109	0	0	8	19	13	1	20	0	5	2	20	21							
実施数	令和4年度	117	0	0	8	27	12	0	14	0	10	0	15	31							
	令和3年度	74	0	0	8	27	0	0	11	0	3	0	15	10							
	令和2年度	45	0	0	8	13	10	0	4	0	0	0	6	4							
	平成31年度	65	0	0	8	20	0	0	18	0	8	0	6	5							
	平成30年度	113	0	0	5	12	5	0	12	0	10	0	7	9							
	平成29年度	42	0	0	5	10	6	0	4	0	3	0	6	8							
	平成28年度	73	0	0	0	7	5	0	10	0	9	0	30	12							
	平成27年度	44	0	0	0	0	5	0	15	0	4	0	8	12							
	平成27年度	43	0	0	5	12	3	0	0	0	9	0	8	6							

12. 高圧ガス保安法関係施設数

令和6年度

区 分	一 般 ・ L P 則	冷 凍 則	合 計
第 1 種 製 造 者	2	4	6
第 2 種 製 造 者	4	28	32
第 1 種 貯 蔵 所	1	0	1
第 2 種 貯 蔵 所	3	0	3
販 売 業 者	7	0	7
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	3	0	3

13. 高圧ガス保安法関係事務処理状況

令和6年度

区 分	件 数
製 造 許 可	0
製 造 施 設 等 変 更 許 可	2
貯 蔵 所 設 置 許 可	0
貯 蔵 所 変 更 許 可	0
製 造 ・ 貯 蔵 完 成 検 査	2
販 売 事 業 届	0
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届	0
そ の 他 の 届	11
保 安 検 査	5
合 計	20

14. 液化石油ガス法事務処理状況

令和6年度

区 分	件 数	
充 て ん 設 備	許 可 (変 更)	0
	完 成	0
	保 安 検 査	0
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	0	

15. 火薬類取締関係事務処理状況

令和6年度

区 分	件 数	
許 可	消 費 許 可	3
立 入 検 査	煙 火 消 費 場 所	3

16. 自主防災組織結成状況

令和7年4月1日現在

	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ		合 計	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
牛窓町	6	265	5	82	1	39	12	386
邑久町	9	970	4	500	13	311	26	1781
長船町	9	685	4	307	3	49	16	1041
合 計	24	1920	13	889	17	399	54	3208



全国火災予防運動に伴う店舗啓発活動

17. 防火・防災指導、実技指導、広報活動状況

(1) 防火・防災指導 令和6年度

内 容	回 数
防火・防災講話	3
防災映画・ビデオ等	1
消防署見学・体験学習	12
合 計	16

(2) 実技指導 令和6年度

内 容	回 数
消火・避難訓練	27
起震車体験	1
煙体験	7
合 計	35

(3) 広報活動

令和6年度

内 容	回 数
巡回広報・パレード	延べ20回
防火啓発紙の配布	延べ6回
市広報誌への掲載	随 時
市、消防本部のホームページへの掲載	随 時
瀬戸内市防災無線広報	随 時
防火看板類の掲示	本署で年間を通じて防火標語、本署・両分駐所で火災予防運動期間中



1 通信指令施設

設 置 名 等		設置数	備 考	
指 令 装 置	指令台 (I型)	119番受付回線	12	メール・FAX・NET119含
		指令回線	3	本署、牛窓、長船
		一般加入回線	4	INS回線
		自動出動指定装置	1式	
		地図等検索装置	2台	
		長時間録音装置	1台	
		非常用指令設備	1台	
		指令制御装置	1式	
		署所端末装置	3式	本署、牛窓、長船
		携帯電話・IP電話受信転送装置	1式	
		無線指令受付装置	2式	牛窓、長船
		駆込通報装置	3式	本署、牛窓、長船
表 示 盤		支援情報表示盤	1面	
		多目的情報表示盤	1面	65インチ
		映像制御装置	1面	
		告知表示盤	6式	
無 線 統 制 台		1台	12ch統制部	
指 令 伝 送 装 置		指令情報送信装置	1式	
		指令情報出力装置	3式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1式		
災 害 状 況 等 自 動 案 内 装 置		1式		
順 次 指 令 装 置		1式		
音 声 合 成 装 置		4式		
署 所 監 視 カ メ ラ シ ス テ ム		4台	WEBカメラ	
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1式		

設 置 名 等		設置数	備 考
システム監視装置		1式	
電源設備		1式	
位置情報通知システム		1式	統合型
IT情報端末(Web型)		2式	指令台併設型
NET 119 受信装置		1式	
119番受信FAX		1式	
メール119番受信装置		1式	
119番補助受付装置		2式	
防災無線連動装置		1式	
消防情報支援システム	消防情報管理装置	1式	
	消防情報支援端末装置	5式	
避雷装置	高速電源避雷器	3式	本署、牛窓、長船
	高速回線避雷器	16回線	

2 有線通信施設

種 別	設置数	備 考
119番受付回線	12	固定4、携帯転送1、携帯4、メール1、FAX1、NET1
一般加入回線	10	本部・本署 8、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
携帯電話	9	救急車4、本部・本署2、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1、指揮車1
ファクシミリ	4	本部・本署 2、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
テレホンサービス	2	火災情報案内、病院情報案内

3. 無線通信施設

デジタル無線(260MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分
1	活動波 1	火災、救急等の業務全般に使用
2	活動波 2	
3	主運用波 7	県内からの応援部隊による火災、救急業務等及び消防機関相互の連絡調整に使用
4	統制波 1	異なる都道府県に属する消防機関相互の応援活動を行う場合において、各消防機関相互の通信統制を行うために使用
5	統制波 2	
6	統制波 3	
7	主運用波 1	広域応援又は救援時に限り使用
8	主運用波 2	
9	主運用波 3	
10	主運用波 4	
11	主運用波 5	
12	主運用波 6	

種 別	局 数	設 置 場 所		
固 定 局	2 局	四辻山基地局 1、倉懸山中継所 1		
基 地 局	2 局	四辻山基地局 1、牛窓基地局 1		
陸上移動局	卓上型(5W)	3 局	消防本部 1、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1	
	車載型(5W)	1局	瀬戸内市消防本部	指揮車 1
		10局	瀬戸内市消防署	消防車 4、救急車 2、救助工作車 1、資機材搬送車 3
		2局	牛 窓 分 駐 所	消防車 1、救急車 1
		2局	長 船 分 駐 所	消防車 1、救急車 1
	可搬型(5W)	1局	瀬戸内市消防署 1	
	携帯型(1W)	18局	瀬戸内市消防署 14、牛窓分駐所 2、長船分駐所 2	

署活系無線 アナログ無線(400MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分	
1	署活波1	免許人の管轄区域及びその周辺以外においては、緊急消防援助隊が消防の応援等のために出動するとき又は訓練時に限る	
	緊急消防援助隊用波10		
2	署活波2		
	緊急消防援助隊用波12		
3	緊急消防援助隊用波1	緊急消防援助隊の応援等のために出動するとき又は訓練時に限る	
4	緊急消防援助隊用波2		
5	緊急消防援助隊用波3		
6	緊急消防援助隊用波4		
7	緊急消防援助隊用波5		
8	緊急消防援助隊用波6		
9	緊急消防援助隊用波7		
10	緊急消防援助隊用波8		
11	緊急消防援助隊用波9		
12	緊急消防援助隊用波11		
13	緊急消防援助隊用波13		
14	緊急消防援助隊用波14		
15	緊急消防援助隊用波15		
16	緊急消防援助隊用波16		
17	緊急消防援助隊用波17		
18	防災相互波		他の防災関係機関所属の無線局と通信を行う場合に限る

種 別	局 数	設 置 場 所
陸上移動局	署活系無線	26局
		瀬戸内市消防署 20、牛窓分駐所 3、長船分駐所 3

4. 火災報知専用電話(119)月別受信状況

通報の 種別 月 別	火 災	救 急 (救 助 含 む)	そ 災 の 他 の 害	問 合 せ	回 線 試 験	い た ず ら	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
1月	2	181	2	6	9	0	9	70	9	288
2月	1	167	8	9	14	0	5	54	10	268
3月	2	157	1	4	7	0	3	55	9	238
4月	1	160	0	5	16	0	9	46	13	250
5月	0	170	2	12	8	0	8	44	9	253
6月	1	154	5	9	27	0	8	46	7	257
7月	0	230	5	6	34	0	9	43	14	341
8月	2	204	2	7	13	0	7	65	13	313
9月	2	161	6	10	4	0	3	49	5	240
10月	0	183	1	4	8	0	2	71	4	273
11月	1	157	2	7	9	0	8	63	15	262
12月	2	199	4	10	22	0	8	70	18	333
合 計	14	2,123	38	89	171	0	79	676	126	3,316

5. 医療機関問い合わせの受付状況

診療科目	内科		外科・整形外科		脳外科		小児科		精神科		産科・婦人科		循環器科		眼科		耳鼻咽喉科		歯科		泌尿器科		合計	
	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入
受付の種別	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入
8:30~17:00	6	3	10	13	1	0	7	2	0	0	0	0	1	0	3	5	1	3	0	1	0	0	29	27
17:00~8:30	20	7	13	7	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	1	1	0	45	15
合計	26	10	23	20	2	0	12	2	0	0	0	0	1	0	5	5	2	3	2	2	1	0	74	42

6. 月別気象状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
気温 ℃	平均気温	4.1	5.8	7.4	15.4	17.1	21.9	27.5	28.5	26.4	19.6	11.9	5.3	年平均 15.9 ℃
	最高気温	13.9	17.8	22.7	26.2	27.8	31.1	35.6	36.0	33.3	30.4	22.3	17.9	年最高 36.0 ℃
	最低気温	-5.2	-3.3	-4.8	1.1	5.5	10.8	21.7	20.6	16.5	10.4	0.6	-3.4	年最低 -5.2 ℃
湿度 %	平均湿度	99.4	99.7	99.7	99.7	99.4	99.7	99.7	99.4	99.1	99.4	99.4	99.7	年平均 99.5 %
	最低湿度	39.4	97.2	21.1	16.3	30.8	44.7	53.0	46.9	48.0	41.9	40.8	40.2	年最低 16.3 %
天候	晴天日数	16	13	16	5	17	3	18	21	19	14	21	26	189 日 51.6 %
	曇天日数	8	5	4	13	5	14	5	2	7	5	4	5	77 日 21.0 %
	降雨日数	7	11	11	12	9	13	8	8	4	12	5	0	100 日 27.3 %
	降雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 日 0.0 %
	霧日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 日 0.0 %
	降雨量mm	17.0	93.5	154.0	127.5	159.5	210.0	139.0	126.0	9.0	95.5	100.5	0.0	総雨量 1231.5 mm
風向 風速	平均風速	2.0	1.8	2.1	1.8	2.0	1.8	1.6	1.7	1.5	1.5	1.8	2.1	年平均 1.8 m
	最大瞬間風速	20.5	18.9	22.0	18.1	23.1	14.3	14.6	16.2	12.0	12.8	17.7	17.7	年最大 23.1 m
	平均風向	西北西	北西	北西	北西	西南西	東南東	南西	東南東	北西	北西	西南西	西	年最多 北西

備考

1 平均気温、平均湿度、平均風速については、1時間ごとの平均値とし、瀬戸内市消防本部の気象観測による。

2 天候については、午前9時の気象による。

警防 消防

1. 消防車両現勢一覧

令和7年4月1日現在

所 属	車種	名称	登録番号	車両年式	原動機性能		ポンプ性能		積載資器材
					気筒数	排気量	級別	規格放水量	
瀬 戸 内 市 消 防 本 部 署	水槽付 ポンプ車	瀬戸内 1号車	岡山800 は17-37	令和2年	4	5,120	A2	2.0	水槽2000ℓ、CAFS泡消火薬液120ℓ、筒先(エコファイターノズル、Gフォースノズル、クアドラノズル)、空気呼吸器、三連梯子、投光器、発電機、消防用ホース、エンジンカッター、チェーンソー、自動昇降装置電動ホースカー、フォグネイル、マルチツール
	高規格 救急車	瀬戸内 3号車	岡山800 す24-04	平成17年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置、冷温蔵庫
	資機材 搬送車	瀬戸内 4号車	岡山480 た60-92	平成28年	3	650			
	資機材 搬送車	瀬戸内 5号車	岡山 80 あ17-03	平成13年	3	650			
	連絡車	瀬戸内 6号車	岡山480 な40-91	令和3年	3	650			
	指揮車	瀬戸内 7号車	岡山800 せ42-85	令和6年	4	2,500			ドローン、ポータブル電源、移動式指揮板、タブレット、コピー機、火災原調器具、イージーアップテント、タワーライト、ポータブル扇風機、距離・風速計、サイドオーニング、保冷庫
	資機材 搬送車	瀬戸内 8号車	岡山880 あ26-23	令和5年	3	650			
	資機材 搬送車	瀬戸内 9号車	岡山800 せ30-63	令和4年	4	4,000			ゴムボート、船外機一式、水難救助器具一式
	連絡車	瀬戸内 10号車	岡山581 の27-74	令和3年	3	650			
	高規格 救急車	瀬戸内 11号車	岡山800 せ23-57	令和2年	6	2,690			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等、 冷温蔵庫、オゾン発生装置
	ブーム付 多目的 車	瀬戸内 12号車	岡山800 は18-86	令和5年	4	5,120	A2	2.0	水槽900ℓ、CAFS、泡消火薬剤60ℓ、13.7m、筒先(エコファイターノズル、クアドラノズル)、空気呼吸器、三連梯子、投光器、消防用ホース
	ポンプ車	瀬戸内 13号車	岡山800 す58-47	平成22年	4	4,000	A2	2.0	可搬ポンプ一式(C-1)、二連梯子、消防用ホース、筒先(クアドラノズル)、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、ジェットシューター
	連絡車	瀬戸内 14号車	岡山480 て71-69	令和1年	4	650			放送設備
	ポンプ車	瀬戸内 15号車	岡山800 す...-16	平成16年	4	4,890	A2	2.0	可搬ポンプ一式(C-1)、二連梯子、消防用ホース、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、筒先(クアドラノズル、フォッグガン)、ジェットシューター
救 助 工 作 車	瀬戸内 16号車	岡山800 は7-62	平成16年	6	6,400			一般救助器具、重量物排除器具、切断用器具、破壊用器具、測定用器具、呼吸保護用器具、隊員保護用器具、水難救助用器具等	
牛 窓 分 駐 所	ポンプ車	牛 窓 1号車	岡山800 せ40-72	令和5年	4	4,000	A2	2.0	水槽600ℓ、CAFS泡消火薬液60ℓ、筒先、空気呼吸器、三連梯子、投光器、消防用ホース、エンジンカッター、電動ホースカー、ジェットシューター
	高規格 救急車	牛 窓 2号車	岡山800 せ29-87	令和3年	4	2,480			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置、冷温蔵庫
長 船 分 駐 所	ポンプ車	長 船 1号車	岡山800 せ5-82	平成29年	4	4,000	A2	2.0	水槽600ℓ、CAFS泡消火薬液60ℓ、筒先、空気呼吸器、三連梯子、投光器、消防用ホース、エンジンカッター、電動ホースカー、ジェットシューター
	高規格 救急車	長 船 2号車	岡山800 す73-99	平成24年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 静脈可視装置、オゾン発生装置、冷温蔵庫

2. 火災概況

種 別	令和4年	令和5年	令和6年
出火件数(件)	11	16	17
焼損棟数(棟)	8	18	10
り災世帯数(世帯)	4	6	6
り災人員(人)	8	13	17
死者(人)	1	0	0
負傷者(人)	1	2	2
焼損床面積(m ²)	429	384	525
焼損表面積(m ²)	32	39	0
林野焼損面積(a)	12	7	42
損害額(千円)	8,999	21,095	52,926
1日平均出火件数(件)	0.03	0.04	0.05
1日平均り災人員(人)	0.02	0.04	0.05
1日平均り災世帯(世帯)	0.01	0.02	0.02
1日平均り災損害額(千円)	25	58	145
建物火災1件当りの損害面積(m ²)	72	43	66
火災1件当りの損害額(千円)	818	1,318	3,113
住民1人当りの損害額(円)	246	578	1,464
1世帯当りの損害額(円)	565	1,305	3,249
市の人口(人)	36,525	36,484	36,160
市の世帯数(戸)	15,922	16,166	16,288
出火率	3	4.4	4.7

※人口・世帯数は各年1月1日現在

※出火率:人口1万人あたりの出火件数

3. 過去3年間の出火原因別火災発生状況

令和6年

火災種別	出火原因														計													
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	グラインダーの火花	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	整流器・充電器	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マッチ・ライター		風呂かまど	風呂かまど	たき火	風呂かまど	個体の衝突摩擦による火花	他本部からの延焼	取灰	火のついたごみ	火遊び	放火	放火の疑い	その他	不明
建物										1			2		3							1		1				8
林野									1						3													4
車両								1															1					2
その他															1									1		1		3
爆発																												
計								1	1	1			2		7								1	1	2		1	17

令和5年

火災種別	出火原因														計												
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	グラインダーの火花	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マッチ・ライター		風呂かまど	たき火	風呂かまど	個体の衝突摩擦による火花	他本部からの延焼	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物						1					1				1	1					1		1			4	10
林野															1											1	2
車両																						1					1
その他																		1	1							1	3
爆発																											
計						1					1				2	1	1	1	1			2		1		6	16

令和4年

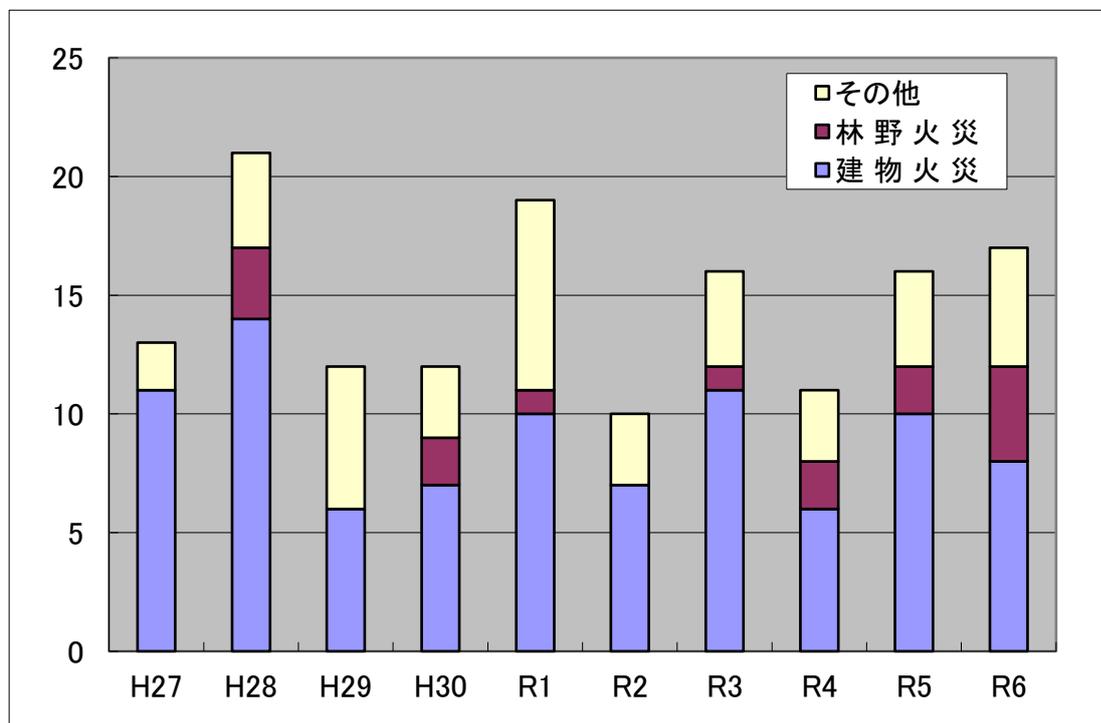
火災種別	出火原因														計												
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	テーブルタップ	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マッチ・ライター		たき火	ポイラー	ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物			1		1	1			1																	2	6
林野															2												2
車両																									1	1	
その他	1																								1	2	
爆発																											0
計	1		1		1	1			1						2										1	3	11

4. 過去5年間の火災発生比較

区分	年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火災件数	火災件数	10	16	11	16	17
	建物	7	11	6	10	8
	林野	0	1	2	2	4
	車両	1	2	1	1	2
	その他	2	2	2	3	3
焼損棟数	焼損棟数	10	21	8	18	10
	全焼	2	8	3	6	3
	半焼	1	1	0	1	1
	部分焼	3	6	2	6	1
	ぼや	4	6	3	5	5
焼損面積	焼損床面積(m ²)	288	448	429	384	525
	焼損表面積(m ²)	4	59	32	39	0
	林野(a)	0	3	12	7	42
り災世帯数	6	6	4	6	6	
り災人員	19	12	8	13	17	
死者	0	3	1	0	0	
負傷者	1	1	1	2	2	
損害額(千円)	損害額(千円)	24,725	16,681	8,999	21,095	52,926
	建物	23,705	15,412	8,980	20,640	51,644
	林野	0	0	0	0	0
	車両	1,000	1,249	10	455	1,264
	その他	20	20	9	0	18

5. 過去10年間の火災動向

年	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
建物火災	11	14	6	7	10	7	11	6	10	8
林野火災	0	3	0	2	1	0	1	2	2	4
その他	2	4	6	3	8	3	4	3	4	5
合計	13	21	12	12	19	10	16	11	16	17



6. 水利現況

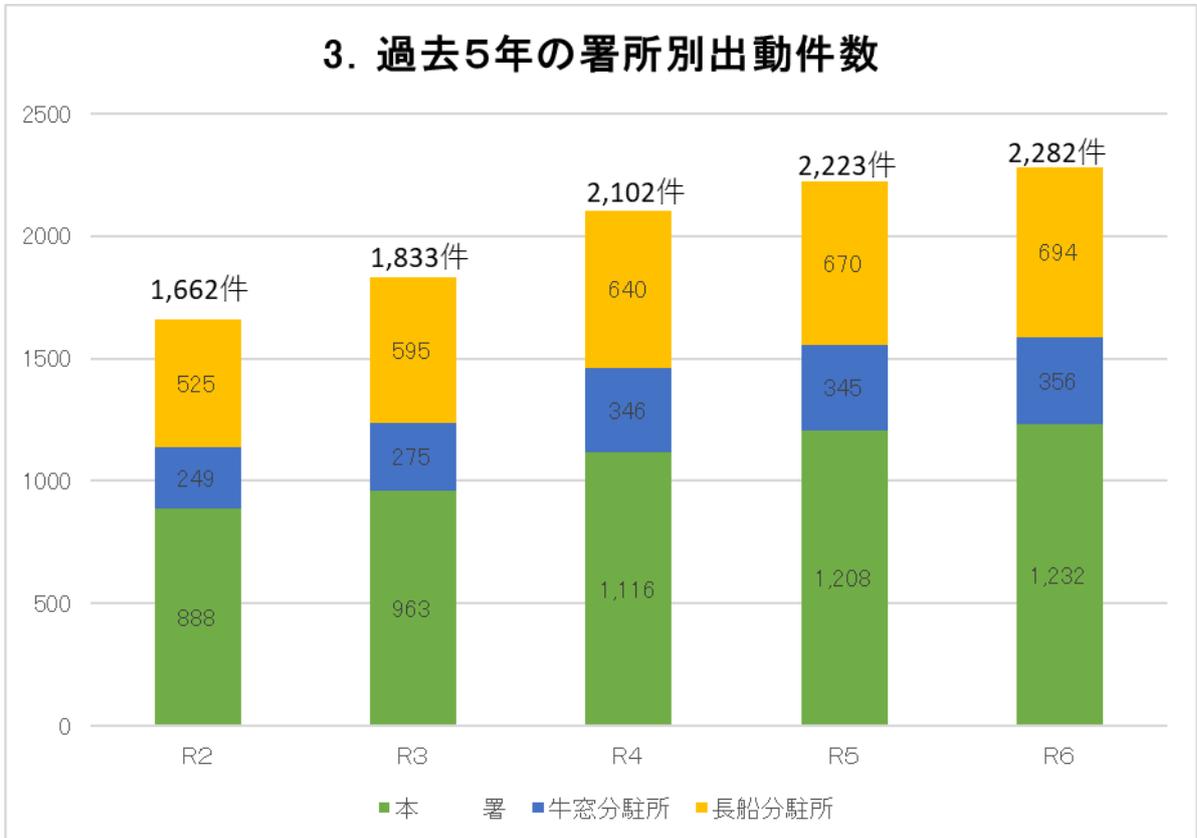
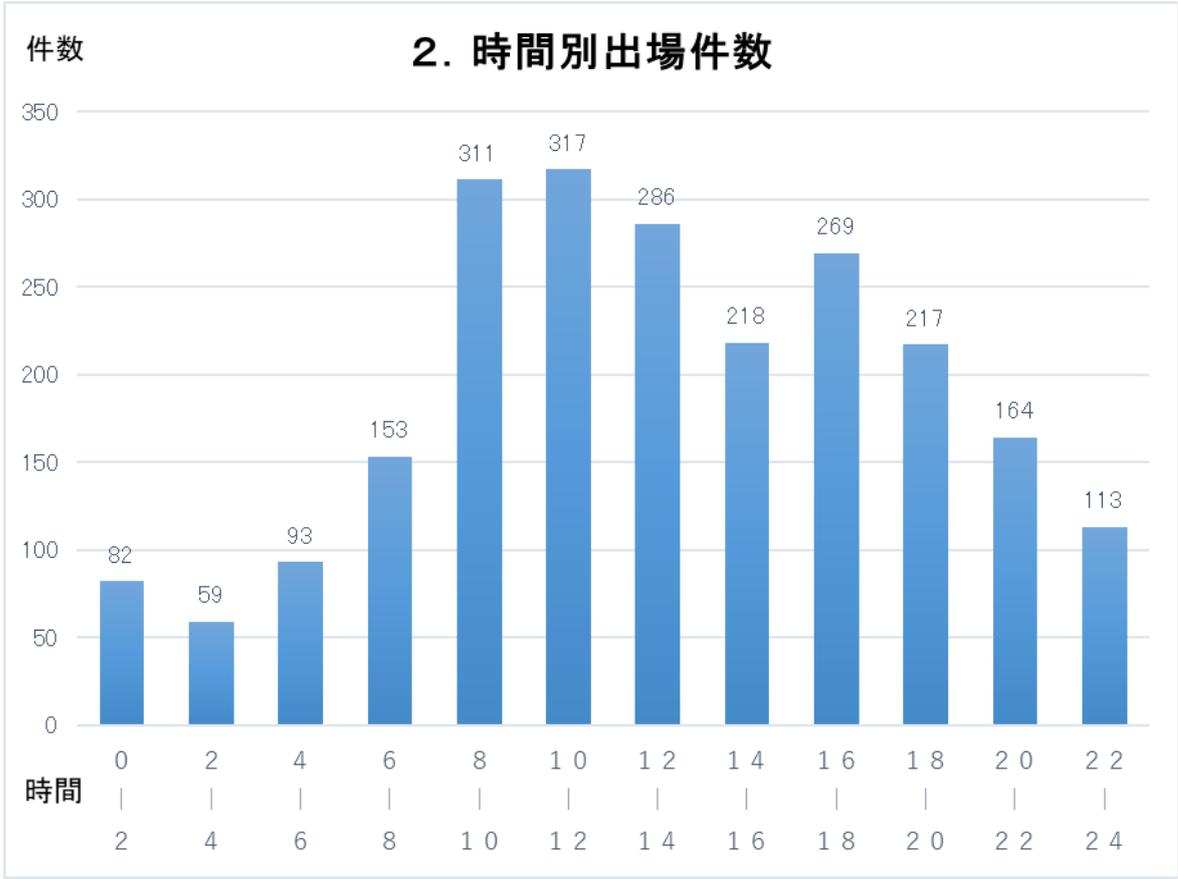
令和6年12月31日現在

区別		町別			
		牛窓町	邑久町	長船町	計
消 火 栓	75mm	83	241	237	561
	100mm	54	107	114	275
	150mm	49	66	88	203
	200mm以上	54	57	16	127
	計	240	471	455	1,166
防 火 水 槽	20m ³ 以上40m ³ 未満	3	3	16	22
	40m ³ 以上	18	64	35	117
そ の 他	プール	3	6	3	12
	接岸(海)	4	4	0	8

警 防 救急・救助

1. 救 急 概 況

項 目	令和5年		令和6年	
1. 出 場 件 数	2, 223件		2, 282件	
火 災	3件	0.1%	1件	0.0%
自 然 災 害	0件	0.0%	0件	0.0%
水 難	3件	0.1%	3件	0.1%
交 通	120件	5.4%	99件	4.3%
労 働 災 害	25件	1.1%	23件	1.0%
運 動 競 技	8件	0.4%	9件	0.4%
一 般 負 傷	364件	16.3%	410件	18.0%
加 害	4件	0.2%	2件	0.1%
自 損 行 為	13件	0.6%	14件	0.6%
急 病	1, 491件	67.1%	1, 524件	66.8%
そ の 他	192件	8.7%	197件	8.6%
2. 傷 病 者 搬 送 件 数	2, 094件		2, 138件	
3. 搬 送 人 員	2, 097人		2, 151人	
男	1, 050人	50.1%	1, 097人	51.0%
女	1, 047人	49.9%	1, 054人	49.0%
4. 出 場 件 数 の 多 い 月	8月		7月	
5. 出 場 件 数 の 多 い 曜 日	火曜日		月曜日	
6. 出 場 件 数 の 多 い 時 間 帯	10～12時		10～12時	
7. 1 日 の 最 多 出 場 件 数	16件		19件	
8. 1 日 の 最 少 出 場 件 数	1件		0件	
9. 1 日 当 た り の 平 均 出 場 件 数	6. 1件		6. 2件	
10. 1 日 当 た り の 平 均 搬 送 員	5. 7人		5. 9人	
11. 1 件 当 た り の 医 療 機 関 問 合 わ せ 回 数	1. 52回		1. 54回	
12. 人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	17. 4人に1人		16. 8人に1人	
	令和6年1月1日現在		令和7年1月1日現在	
	人 口 36, 484人		人 口 36, 160人	
	世 帯 数 16, 166戸		世 帯 数 16, 288戸	



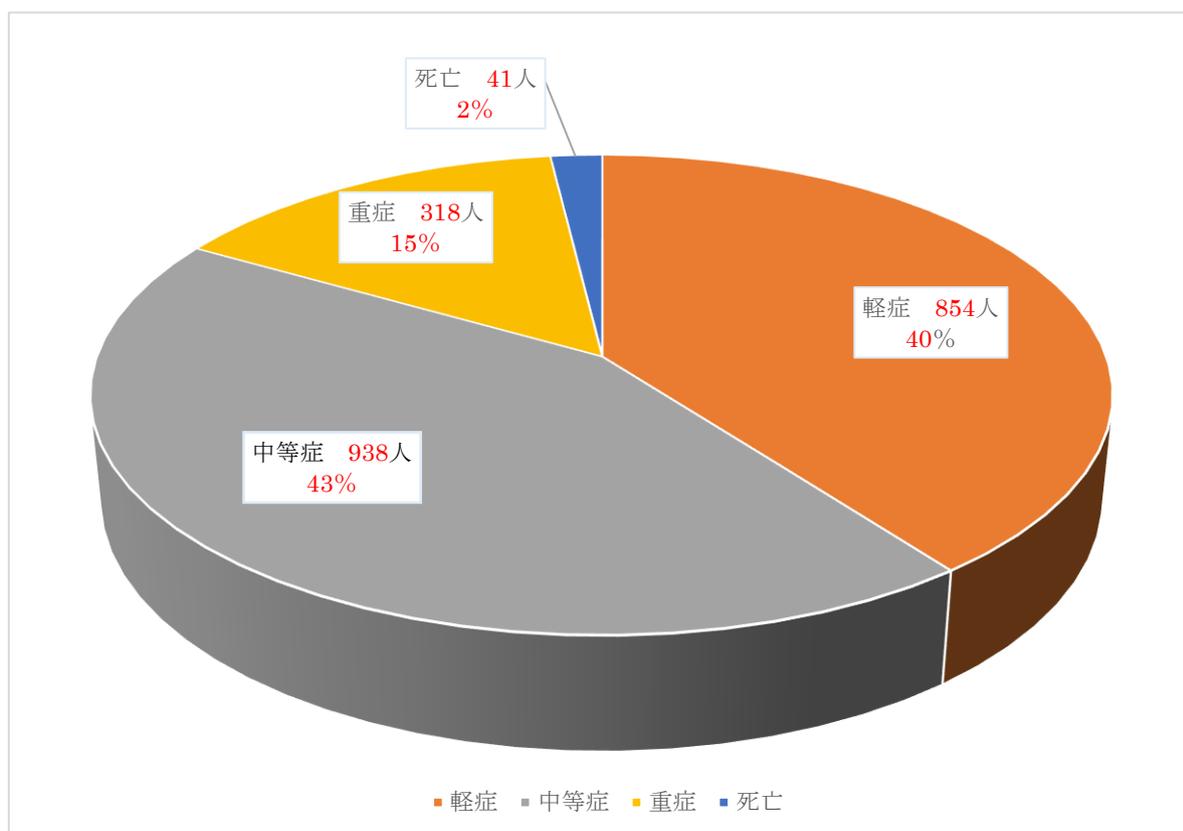
4. 曜日別月別救急出場件数

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資器 材等	その他	
曜 日 別	月				12	4	1	81		2	236	36				372
	火	1			20	3	1	55	1	1	232	33			1	348
	水			1	18	4		57		3	211	28				322
	木				13	6	3	52		1	206	37				318
	金				15	5		60	1	2	218	27			1	329
	土			1	13	1	1	52		2	217	21			1	309
	日			1	8		3	53		3	204	12				284
	計	1		3	99	23	9	410	2	14	1524	194			3	2282
月 別	1月	1			11			26			142	17				197
	2月			1	7	4		37		1	109	22				181
	3月				4	1	2	37		2	115	15			1	177
	4月				2	2	1	36		1	110	13				165
	5月				10	2	1	35		2	114	21				185
	6月				5	1		32		1	115	15			1	170
	7月				7	3	1	37	2	2	180	15				247
	8月				9	3		32		1	153	17			1	216
	9月			2	12	2	2	26		2	116	9				171
	10月				11	2	1	35			135	15				199
	11月				11	3		30		1	99	19				163
	12月				10		1	47		1	136	16				211

5. 事故種別出場件数と男女別搬送人員

事故種別	出場件数	搬送人員		
		男	女	計
火災	1	1		1
自然災害				
水難	3	1	1	2
交通	99	62	41	103
労働災害	23	23		23
運動競技	9	8	1	9
一般負傷	410	148	240	388
加害	2			
自損行為	14	5	2	7
急病	1524	743	681	1424
その他	197	106	88	194
合計	2282	1097	1054	2151

6. 傷病程度別搬送状況(搬送人員2,151人 100%)



7. 年齢区分別傷病程度の状況

区 分 程 度	新 生 児 (生後1ヵ月未満)	乳 幼 児 (生後1ヵ月～6才)	少 年 (7才～17才)	成 人 (18才～64才)	高 齢 者 (65才以上)	計
死 亡	1			2	38	41
重 症		1		44	273	318
中 等 症		11	11	114	802	938
軽 症		56	40	271	487	854
そ の 他						
計	1	68	51	431	1600	2151



岡山大学病院 ドクターカーとの連携訓練の様子

8. 事故種別応急処置状況

事故種別	搬送人員	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法	血糖測定・エピペン・ブドウ糖	除細動	輸液	薬剤投与	その他	血圧測定	聴診器	血中酸素	心電図	合計
急病	1424	1422	5	23	3		36	386	55	67	8	15	35	2	23	13	117	1374	639	1384	830	5015
交通	103	102	9	59	1		2	12	3	9	12						3	100	57	100	29	396
一般負傷	388	387	36	125	1		6	35	9	14	62	1	1		4	4	15	377	85	381	95	1251
上記以外	236	236	7	22	1		3	65	4	9	9	1			3	2	22	233	77	235	105	798
計	2151	2147	57	229	6		47	498	71	99	91	17	36	2	30	19	157	2084	858	2100	1059	7460

9. 急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員

疾病分類 傷病程度	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
	脳疾患	心疾患等									
死亡	1	17	1	3				1	2	5	30
重症	34	46	26	34		5	5	6	24	22	202
中等症	33	34	68	144	3	13	52	12	132	118	609
軽症	10	27	41	61	17	36	28	4	137	219	583
その他											
計	78	124	136	242	20	69	85	23	295	364	1424

10. 医療機関別搬送人員

区 分	医 療 機 関															そ の 他 の 場 所	合 計
	救急告示医療機関					その他の医療機関					計						
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計		
病 院			診 療 所	病 院				診 療 所	病 院				診 療 所				
人 員	1103 (275)	236 (236)	744 (744)	10 (10)	2093 (1265)	2 (2)	0	49 (48)	7 (2)	58 (52)	1105 (277)	236 (236)	793 (792)	17 (12)	2151 (1317)	0	2151 (1317)
割 合	100															0	100
(%)	97.3					2.7					100						
	52.7	11.3	35.5	0.5	100	3.4	0.0	84.5	12.1	100	51.4	11.0	36.8	0.8	100		

※ () うち書きは、管外の医療機関に収容した人数。

11. 管内管外別搬送人員

事故種別 区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その 他	計
管内に居住 している者				56	10	2	357		5	1296	170	1896
管外に居住 している者	1		2	47	13	7	31		2	128	24	255
計	1		2	103	23	9	388		7	1424	194	2151

12. 現場到着所要時間別出動件数状況

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着 最短 所要時間(分)	現場到着 最長 所要時間(分)	現場到着 平均所要 時間(分)
急病	20	38	818	632	16	1524	0	28	9.5
交通	1	2	39	54	3	99	2	28	10.9
一般負傷	5	10	214	174	7	410	1	30	9.7
上記以外	1	33	154	47	14	249	2	29	8.8
計	27	83	1225	907	40	2282			

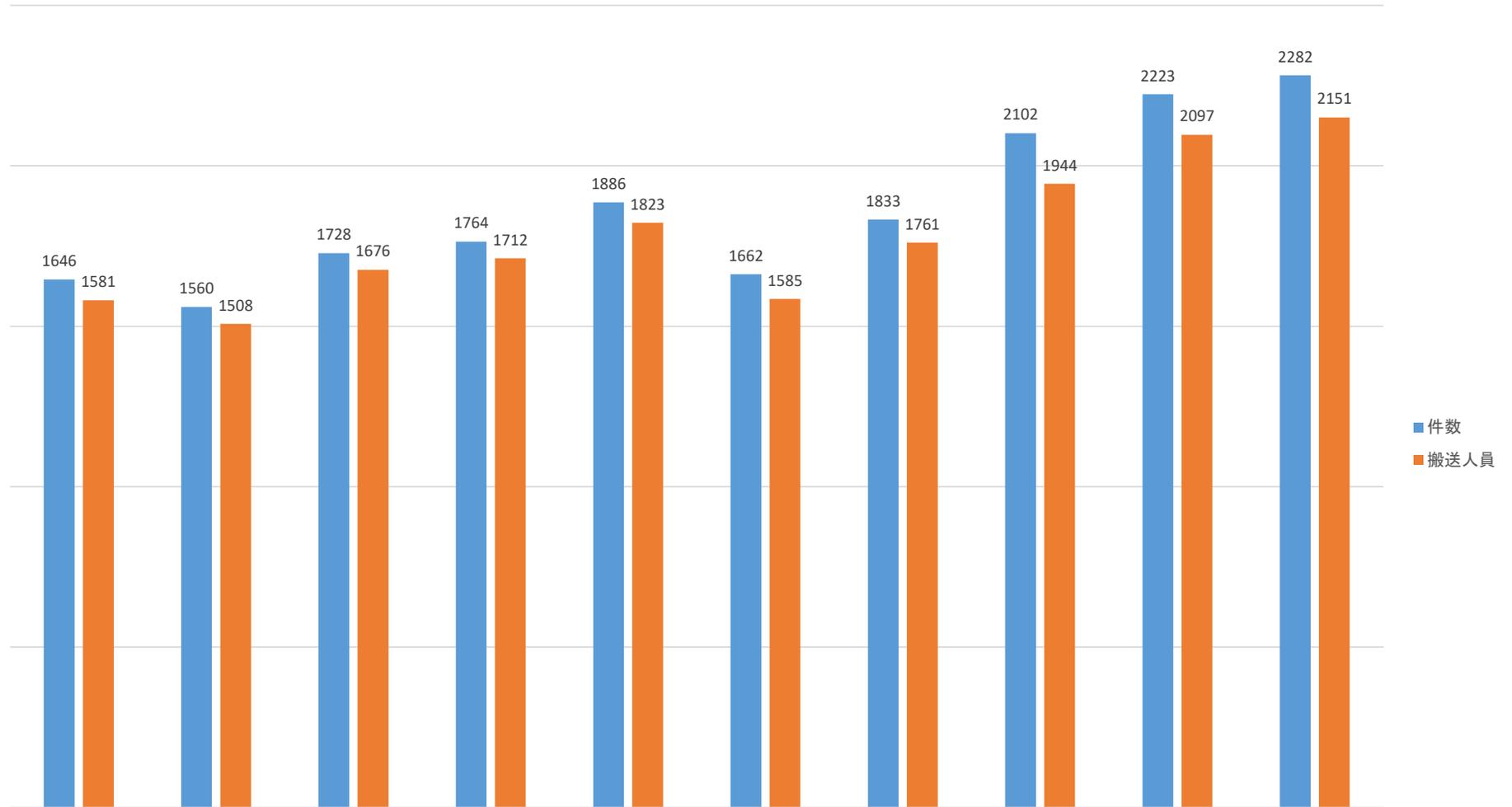
13.收容所要時間別搬送人員狀況

事故種別	時間(分)						計
	10未満	10～20	20～30	30～60	60～120	120以上	
急病		12	235	1034	141	2	1424
交通		1	11	78	12	1	103
一般負傷		1	53	301	33		388
上記以外		2	17	177	40		236
計		16	316	1590	226	3	2151

14.発生場所別搬送人員

事故種別	発生場所					計
	住宅	公衆出入	仕事場	道路	その他	
急病	986	350	38	32	18	1424
交通		5		87	11	103
一般負傷	274	65	1	34	14	388
上記以外	7	205	18	1	5	236
計	1267	625	57	154	48	2151

15. 過去10年間の搬送状況

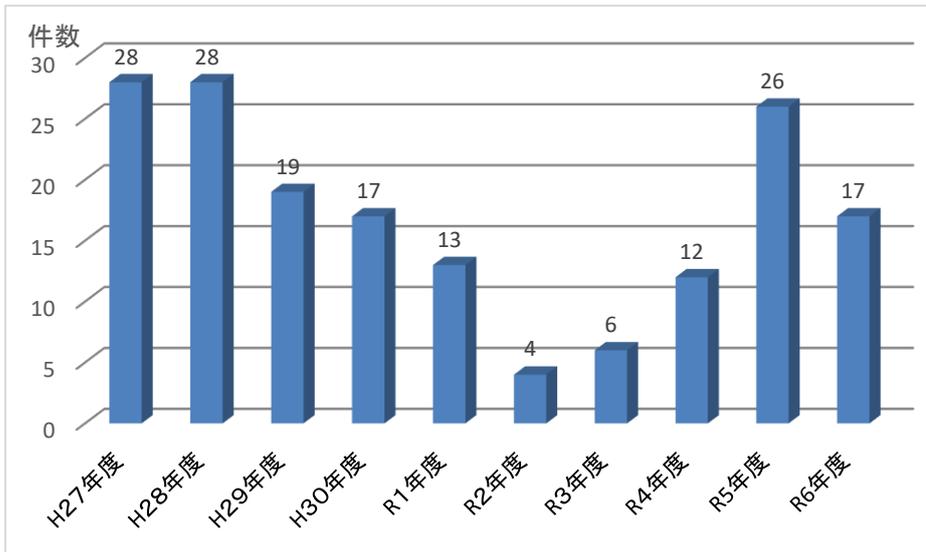


	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
件数	1646	1560	1728	1764	1886	1662	1833	2102	2223	2282
搬送人員	1581	1508	1676	1712	1823	1585	1761	1944	2097	2151

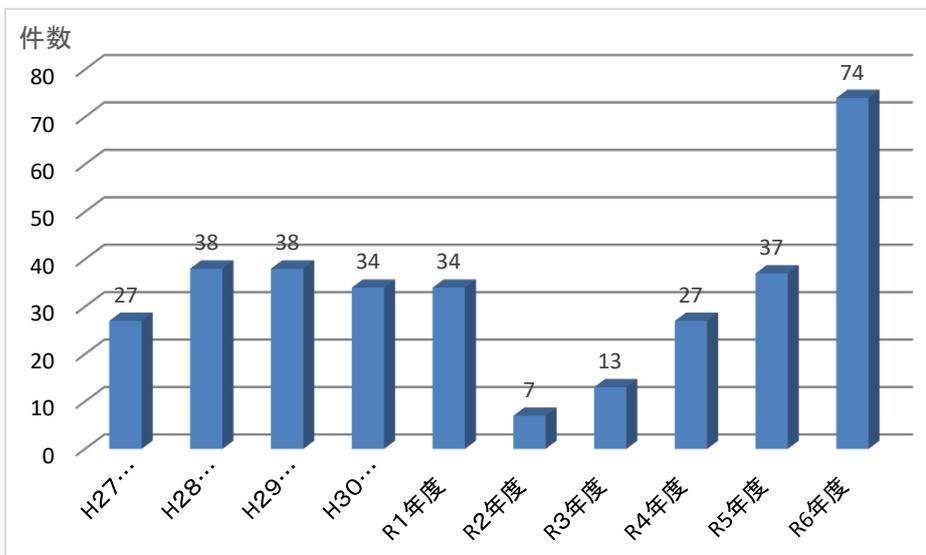
16. 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児 (生後1ヵ月未満)										1		1
乳幼児 (生後1ヵ月以上～6才)			1	1			11			54	1	68
少年 (7才～17才)				4		5	9			32	1	51
成人 (18才～64才)	1			50	19	4	48		5	274	30	431
高齢者 (65才以上)			1	48	4		320		2	1063	162	1600
計	1		2	103	23	9	388		7	1424	194	2151

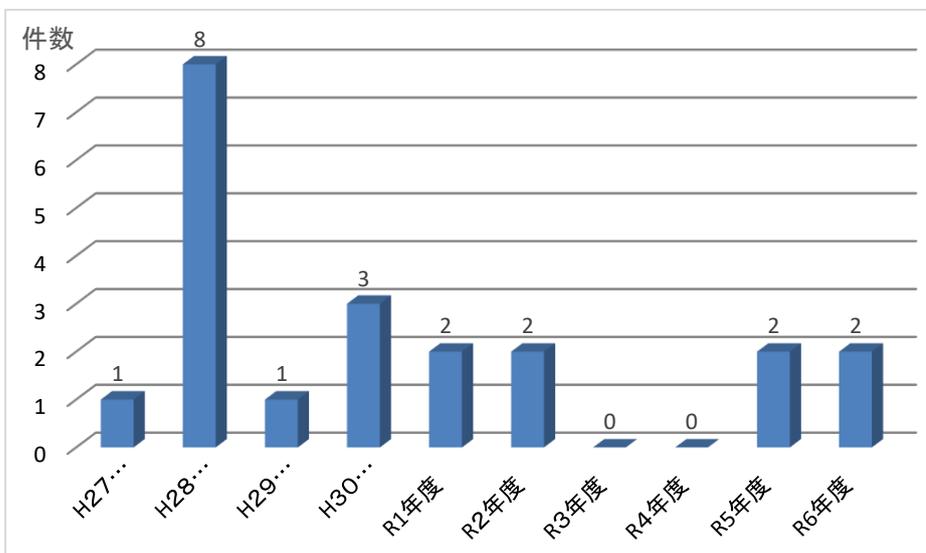
17. 実技指導



普通救命講習



応急手当



水上安全

18. 救助概況

令和6年中

区分 事故種別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 人 員					出 動 車 両 等							
				計	専 任 救 助 隊 員	兼 任 救 助 隊 員	消 防 隊 員	救 急 隊 員	計	救 助 工 作 車	消 防 ポン プ 自 動 車	水 槽 付 ポン プ 車	指 揮 車 ・ 指 令 車	救 急 車	そ の 他 の 車 両	ヘ リ コ プ ター
合 計	32	18	21	251		105	35	111	81	31	3	3	2	37	5	
交 通 事 故	15	9	12	134		52	22	60	44	15	3	3	2	20	1	
水 難 事 故	1	1	1	7		3	1	3	2	1				1		
機 械 に よ る 事 故	1	1	1	7		2	2	3	2	1				1		
建 物 等 に よ る 事 故	6	3	3	38		19	1	18	12	6				6		
そ の 他 の 事 故	9	4	4	65		29	9	27	21	8				9	4	

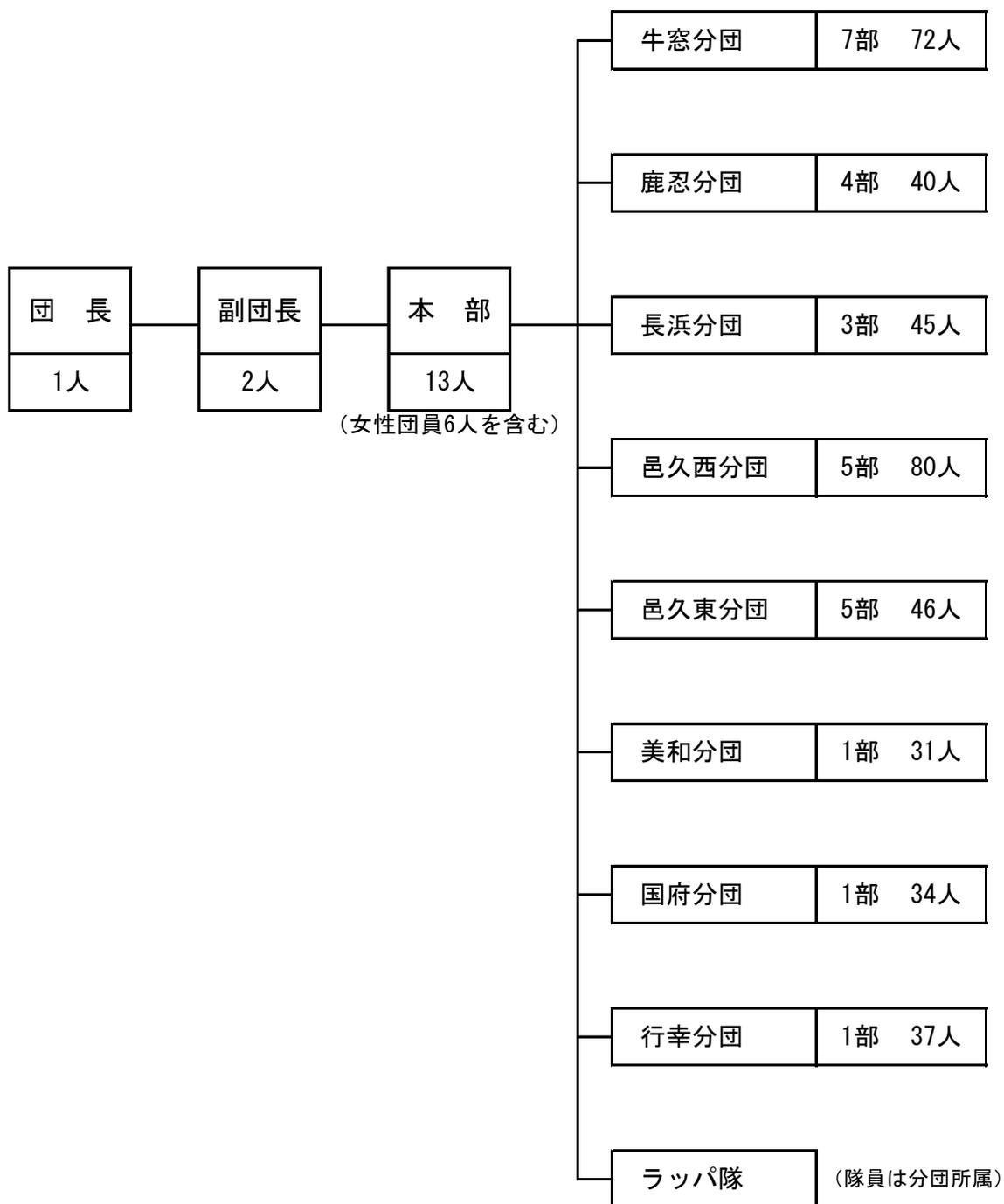


吉井川でのゴムボート操船訓練の様子

消 防 団

1. 消防団の組織及び定員

令和7年4月1日 現在



1 団 8 分団
 定員 450人
 実員 401人 (うち女性団員6人を含む)

2. 消防団階級別人員調

令和7年4月1日 現在

(単位：人)

階級 \ 所属	本部		牛窓	鹿忍	長浜	邑久西	邑久東	美和	国府	行幸	計
	幹部	本部									
団 長	1										1
副 団 長	2										2
分 団 長		5	1	1	1	1	1	1	1	1	13
副 分 団 長			1	2	1	2	1	1	1	1	10
部 長		3 (1)	7	4	3	5	5	1	1	1	30 (1)
班 長			7	8	4	5	5	4	4	4	41
団 員		5 (5)	56	25	36	67	34	24	27	30	304 (5)
合 計	3	13 (6)	72	40	45	80	46	31	34	37	401 (6)

※ () 数字はうち女性団員

令和7年4月1日 現在

年齢 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長 (うち 女性 団員)	班 長	団 員 (うち 女性 団員)	計 (うち 女性 団員)
18以上～20未満								0
20～25							6	6
25～30					1	1	16 (2)	18 (2)
30～35					1	3	24 (1)	28 (1)
35～40					3	3	32 (1)	38 (1)
40～45				1	1	10	47 (1)	59 (1)
45～50				2	10 (1)	10	64	86 (1)
50～55			3	1	8	11	55	78 (0)
55～60			8	2	4	2	37	53
60以上	1	2	2	4	2	1	23	35
計	1	2	13	10	30 (1)	41	304 (5)	401 (6)

4. 団員報酬及び諸手当

令和7年4月1日 現在

階級	区分	報酬 (年)	火災出動 (1回)		風水害等 その他の災害		警戒出動 等	訓練	その他
			4時間 未満	4時間 以上	4時間 未満	4時間 以上			
団	長	119,000	4,000	8,000	4,000	8,000	1,500	2,000	1,000
副	団 長	99,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
分	団 長	72,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
副	分 団 長	50,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
部	長	37,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
班	長	37,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
団	員	36,500	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

単位 (円)

5. 消防団車両状況

令和7年4月1日 現在

所 属	車 種	プレート番号	登録年月
団本部	指令車	岡山800 せ 37-62	R 5. 3
団本部	多機能車 (可搬 ^ホ ン ^フ 積載)	岡山800 す 58-65	H 22. 3
団本部	ポンプ車	岡山800 す 87-95	H 27. 2
団本部	防災活動車	岡山880 あ 17-33	H 29. 12
団本部	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車 (簡易 ^ホ ン ^フ 車)	岡山800 す 14-00	H 17. 2
牛窓分団第1部 (東町)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 19-11	H 14. 12
牛窓分団第2部 (関町)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 15-70	H 12. 12
牛窓分団第3部 (中浦)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 23-99	R 2. 12
牛窓分団第4部 (紺浦)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 21-85	R 2. 11
牛窓分団第5部 (師楽)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 さ 30-01	H 12. 2
牛窓分団第6部 (幡)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 41-17	R 5. 11
牛窓分団第7部 (前島)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 13-28	H 26. 11
鹿忍分団第1部 (西浜)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 24-00	R 2. 12
鹿忍分団第3部 (野上)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 20-26	R 1. 11
鹿忍分団第4部 (千手)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 17-34	H 13. 9
鹿忍分団第5部 (西脇)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 15-71	H 12. 12
長浜分団第1部 (奥浦)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 41-16	R 5. 11
長浜分団第2部 (小津)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 さ 30-02	H 12. 2
長浜分団第3部 (粟利郷)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 19-10	H 14. 12
邑久西分団第1部 (邑久)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 13-80	H 31. 2
邑久西分団第2部 (福田)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 56-77	H 21. 12
邑久西分団第3部 (今城)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 35-44	R 4. 11
邑久西分団第4部 (豊原)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 56-79	H 21. 12
邑久西分団第5部 (笠加)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車 (簡易 ^ホ ン ^フ 車)	岡山800 す 42-45	H 19. 12
邑久東分団第1部 (本庄)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ ・ 702	H 30. 2
邑久東分団第2部 (玉津)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 50-04	H 20. 12
邑久東分団第3部 (鍛冶谷)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 17-33	H 13. 9
邑久東分団第4部 (瀬戸)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 56-37	H 21. 12
邑久東分団第5部 (浜)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 31-41	R 4. 3
美和分団	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 さ 99-83	H 16. 2
国府分団	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 46-62	R 6. 11
行幸分団	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 46-63	R 6. 11

6. 出動状況

令和7年4月1日 現在

種別 分類	火 災	風水害等 の災害	演習・訓 練等	広 報	警防調査	特別警戒	その他	合 計
出動回数	11	1	113	3	28	15	182	353
出動人員	240	130	1,299	53	195	619	1,424	3,960

